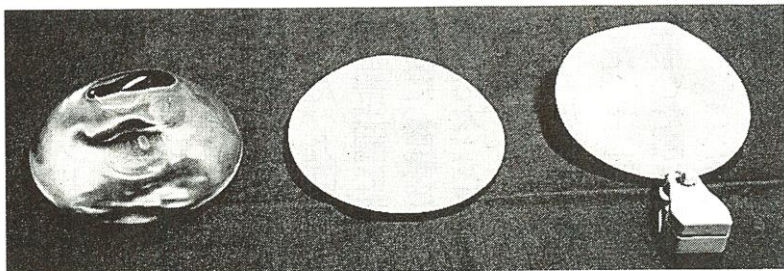


3月25日(火)

2014年(平成26年)



乳房再建に使う皮膚拡張器(右端)と人工乳房

県内初

乳房再建手術保険適用

紀和病院、トメモリ形成外科で

【橋本】

公的医療保険を適用して人工乳房による乳房再建手術が県内で初めて、橋本市内で実施できるようになった。「紀和病院・紀和プレスト(乳腺)センター」(同市岸上)と「トメモリ眼科・形成外科」(同市市脇)が「日本乳房オンコプラスチックサージヤリー学会」から認定を受けたことで、センターが乳がん摘出と同時に拡張器を挿入して皮膚を広げ、トメモリ形成外科が人工乳房と入れ替えるチームプレーが可能となった。

人工乳房手術はこれまで、自由診療のため

費用が約100万円かかるなど、患者の経済的負担が大きかった。昨年7月、アラガン・ジャパン社(東京都)

製の皮膚拡張器と人工乳房について安全性が確認されたとして、保険適用が決定。日本乳房オンコプラスチックサージヤリー学会が認定した医療施設だけが同社から購入できる仕組みができた。

人工乳房による乳房再建手術のうち、同センターとトメモリ形成外科による再建の方法は「1次2期的再建」と呼ばれ、手術回数を

最小限に抑え、乳房の美しさや安定性が保てる面から一般的とされる。

この再建方法で保険適用を受けるには、乳腺専門医による皮膚拡張器の挿入と、形成外科専門医の人工乳房手術の2種類の実施設認定が必要となる。同センターとトメモリ形成外科は今回、それぞれが一方の認定を受けて、相互に手術に立ち会うことなどで、この条件を満たした。

【上鶴弘志】